

教員プロフィール

平成 27 年 3 月 17 日

日本医療科学大学

所属学科・専攻	保健医療学部 診療放射線学科
氏名	市川 真澄
職位	教授
資格	診療放射線技師 第1種放射線取扱主任者
主な略歴	明星大学理工学部物理学科卒業(理学士) 東京電子専門学校診療放射線学科卒業(専門士) 日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻科卒業(修士(工学)) 修士(工学) 埼玉医科大学RI臨床検査室(主任) 埼玉医科大学RI研究施設(放射線管理主任) 城西放射線技術専門学校診療放射線学科(非常勤講師) 日本医療科学大学保健医療学部診療放射線学科(教授)
担当講義	放射線計測学、放射線安全管理学、放射線計測学演習Ⅰ、放射線物理学演習Ⅰ 診療放射線学総合演習、放射線計測学演習、基礎ゼミ、画像検査技術学実習Ⅰ 医用放射線計測学Ⅰ、放射性医薬品学、チーム医療演習、放射線管理・計測学実験
専門分野	放射線計測学、核医学検査技術学、放射線安全管理学
主な研究テーマ	放射性同位元素からの γ 線放出に伴う散乱線の影響と除去法の研究 放射性同位元素汚染廃棄物における残留放射能の検討
業績 (主要なもの)	著書など「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」(共著)日本アイソトープ協会,1999~2001. 「放射線安全管理学」(共著)コロナ社,2004. 「放射線用語辞典」(共著)コロナ社,2006. 「放射線物理学」(共著)通商産業研究社,2011. 論文など「放射性廃棄物の残留放射能に伴う線量率の測定」(共著)埼玉城西学園研究紀要第1号,2006. 「患者皮膚被ばく線量計(PSD)の特性」(共著)日本保健科学学会誌,2006. 「 ^{123}I 線スペクトルにおける散乱線含有量の測定」(共著)埼玉城西学園研究紀要第2号,2007. 「安全な放射線診療実施に関する障害者への配慮」(単著)日本医療科学大学研究紀要第1号 「 ^{123}I -IMPIにおける散乱線除去効果の研究」(共著)日本大学大学院医療・福祉工学専攻論文 「Radiological Technology Education in Transition」(共著)日本医療科学大学研究紀要第5号 発表 : 「3次元収集PET/CT脳検査におけるネックシールドの評価」(共同)第29回日本核医学技術学会
所属学会 (主要たる所属学会)	日本放射線技術学会、日本核医学会、日本核医学技術学会、日本保健物理学会、日本保健科学学会 日本アイソトープ協会、日本診療放射線技師会、埼玉県診療放射線技師会
社会活動等	第1種放射線取扱主任者試験模範解答作成委員(日本アイソトープ協会)1999~2001. 医療安全学セミナー講師「被曝線量測定法」(埼玉県放射線技師会),2004. 日本医療科学大学公開講座講師「福島原発事故に伴う環境放射能への影響」,2011. 十王ライオンズクラブ記念講演会講師「放射性物質の飛散とフォールアウト」,2011.
在学生に一言	診療放射線技師を目指すための勉強は、広範囲の分野に及んでいます。その勉強を日常的に少しずつ確実に身に付けていくことが技師への道のりの最短コースだと思います。医療人として大事な思いやりの心を養いつつ、立派な診療放射線技師を目指して努力してください。
受験生に一言	放射線は医療の分野では、病気の診断と治療において欠かせないものです。診療放射線技師は放射線を利用することによる利益を最大にして患者様の健康のために役立てることを目標とします。学校に入学することは、診療放射線技師への第一歩です。頑張ってください。
メールアドレス	ichikawa@nims.ac.jp